

# 2011年度 事業報告書

---

学校法人 河合塾学園

- I. 法人の概要
- II. 事業の概要
- III. 財務の概要

**河合塾**

## I. 法人の概要

学校法人 河合塾学園

代表 : 理事長 河合 弘登

所在地 : 〒464-8611 愛知県名古屋市千種区今池 1-5-31

設立 : 1978年9月11日

### 1. 沿革 (2012年3月31日時点)

- 1933年 河合逸治が「河合英学塾」を創設
- 1937年 「河合塾」と改称し、桜山校（名古屋市）開校
- 1955年 愛知県から学校法人の認可を受け「学校法人河合塾」設立
- 1970年 「英才教育研究所」（1982年よりドルトンスクール）新設
- 1970年 「名古屋英会話センター」新設
- 1970年 「真貴幼稚園」開園
- 1973年 「名古屋外国語学校」（2010年よりトライデント外国語・ホテル専門学校）を「名古屋英会話センター」から改編・改称して開校
- 1976年 ニューヨーク The Dalton school と提携し、「英才教育研究所」を「河合塾ドルトン教育研究所」と改称
- 1976年 「名古屋外国語専門学校」として専修学校法に基づき愛知県で最初に認可される
- 1978年 「学校法人河合塾学園」を学校法人河合塾から分離新設
- 1982年 「河合塾ドルトン教育研究所」を「河合塾ドルトンスクール」と改称
- 1984年 「名古屋情報処理専門学校」（1999年よりトライデント コンピュータ専門学校）開校
- 1986年 「名古屋外国語専門学校」は「トライデントスクール オブ ランゲージ」に、「名古屋情報処理専門学校」は「トライデントスクール オブ インフォメーションテクノロジー」にそれぞれ校名変更  
「トライデントスクール オブ マネジメント」開校
- 1986年 留学生対象事業開始
- 1989年 「トライデント スクール オブ デザイン」（1999年よりトライデント デザイン専門学校）開校
- 1999年 「トライデント ホテル・サービス事業専門学校」（2010年よりトライデントビューティ・ブライダル専門学校）開校
- 1999年 「トライデント スポーツ健康科学専門学校」（2010年よりトライデント スポーツ医療看護専門学校）開校
- 2002年 ドルトンスクール名古屋が各種学校認可
- 2007年 「トライデント スポーツ健康科学専門学校」は「トライデント スポーツ医療科学専門学校」に校名変更
- 2010年 「トライデント 外国語専門学校」を「トライデント 外国語・ホ

テル専門学校」に、「トライデント ホテル・サービス事業専門学校」を「トライデント ビューティ・ブライダル専門学校」に「トライデント スポーツ医療科学専門学校」を「トライデント スポーツ医療看護専門学校」にそれぞれ改編・改称して開校

2011 年 ドルトンスクール東京が各種学校認可

2. 設置する学校および所在地 (2012 年 3 月 31 日時点)

真貴幼稚園 (愛知県瀬戸市原山台二丁目 23 番地の 2)

トライデント 外国語・ホテル専門学校

(愛知県名古屋市中村区名駅四丁目 1 番 11 号)

トライデント コンピュータ専門学校

(愛知県名古屋市中村区名駅三丁目 24 番 15 号)

トライデント デザイン専門学校

(愛知県名古屋市中村区則武一丁目 15 番 3 号)

トライデント スポーツ医療看護専門学校

(愛知県名古屋市中村区今池一丁目 5 番 31 号)

トライデント ビューティ・ブライダル専門学校

(愛知県名古屋市中村区名駅四丁目 1 番 11 号)

ドルトンスクール東京 (東京都渋谷区上原三丁目 28 番 18 号)

ドルトンスクール名古屋 (愛知県名古屋市中村区今池二丁目 2 番 1 号)

3. 教職員・役員の状況 (4 月 30 日〔2011 年度開講〕時点)

教員 440 名

職員 89 名

役員

理事 定数 8 人以上 10 人以内(任期 2 年)  
実数 常勤 6 名 非常勤 3 名 計 9 名

河合弘登

勅使河原慎吾

坪井勝人

渡辺守重

伊藤隆康

松田倫範

鶴澤昌和(非常勤)

那須國宏(非常勤)

衛藤博啓(非常勤)

監事 定数 3 名(任期 2 年)

実数 常勤 1 名 非常勤 1 名 計 2 名

山城邦雄

柳澤義一(非常勤)

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. (学)河合塾学園の事業

#### ① 幼児教育事業

- ・ 真貴幼稚園
- ・ ドルトンスクール

真貴幼稚園は、1970年に愛知県瀬戸市の菱野団地に3歳・4歳・5歳児を対象に設立された幼稚園です。2011年度の在籍園児数は12クラス314名。教育目標は「四季折々の行事を組み入れたカリキュラムと指導計画のもと、人間形成の基礎となる“心(こころ)”“体(からだ)”“知(ちのう)”の3要素をバランスよく育成し、園訓である『汝自らを求めよ』の精神を踏まえ、『自分で考え、自分で学び進んでいく、たくましく生きる力』を身につけるよう指導しています。

ドルトンスクールは、1976年にニューヨークのThe Dalton Schoolと提携し、名古屋と東京で1才から12才を対象に独自の教育を行っています。設立後40年近く経過し、名古屋・東京合わせて約900名の生徒が在籍するまでになりました。幼稚園にあたるファーストプログラムの卒業生は両校で2,000名を超え、各界で活躍しています。これも生徒一人ひとりの興味・関心と能力にあったカリキュラムを提供し力を引き出す「ドルトンプランの教育」の実践による成果であり、多くの保護者の方々の当校への期待とご理解によるものです。東京校は、これまでの教育実践と新校舎による教育環境整備により各種学校の認可を受け、国際色豊かな学校として2011年4月に新たなスタートを切りました。両校とも学校を社会の縮図ととらえ、最先端の内容と教育方法を採り入れながら、生徒が社会に出て自己実現できるよう教育活動の向上をおこなうと共に、今後もニューヨークのThe Dalton Schoolとの関係強化を一層図り、日本の将来を担う人材を輩出するよう進めていきます。

#### ② 専門学校事業

- ・ トライデント 外国語・ホテル専門学校
- ・ トライデント コンピュータ専門学校
- ・ トライデント デザイン専門学校
- ・ トライデント スポーツ医療看護専門学校
- ・ トライデント ビューティ・ブライダル専門学校

専門学校トライデントは、1976年に愛知県で最初の専門学校として「名古屋外国語専門学校(現 外国語・ホテル専門学校)」が認可されて以来、スペシャリストの育成に努めてきました。高校卒業後に専門知識・スキルを学びたい生徒のニーズに応えるために、現在ではジャンルの違う5校を有し、31の学科から構成する総合型専門学校となっています。河合塾で長年培ってきた教育ノウハウをベースに、社会に役立つ実践的な能力の養成を行っています。社会の動きに柔軟に対応しながら、常に一步先をゆく新しい教育を自由な発想で展開し、これからの時代を担う上で不可欠な能力をもった人材の創出をめざしています。

例年、教育成果である学生作品が数々のコンテストで高い評価を受けているコンピュ

ータ専門学校では、日本ゲーム大賞2011アマチュア部門にて、大賞、優秀賞、佳作を受賞することができました。デザイン専門学校においても、【社】インテリア産業協会主催「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」において課題分野で最高の賞となる製造産業局長賞を受賞することができました。現役のプロデザイナーと肩を並べての学生の受賞は快挙と言えます。スポーツ医療看護専門学校では、理学療法学科および柔道整復学科などの学科に加え、2010年4月に看護学科を開講し、2年目を迎えました。スポーツに関するスキルと、人々の健康やコンディションをサポートできるスポーツ医療を学び、これからのスポーツ医療業界で、身体(カラダ)の専門家として活躍できる「スポーツ×医療」に関する人材育成に努めています。ビューティ・ブライダル専門学校では、既存のブライダル学科に加え、2010年4月に美容学科、トータルビューティ学科を新設。「スキル」、「センス」、「サービス」の3要素を習得し、夢と感動を与えることのできる人材育成に努めています。外国語・ホテル専門学校では、語学とサービスのプロを育成するため、語学分野では TOEIC テストを資格対策の中心に英検、観光英語検定や旅行業務取扱管理者等、難関・人気資格を強化し、多種の取得をめざしています。特に TOEIC テストにおいては独自カリキュラムでスコアが900点台の学生を輩出することができました。また、サービス分野では、インターンシップ(企業研修)提携先を拡大、海外ではカナダの有名リゾートホテルでの研修をはじめ、国内でも東京都心、北海道から沖縄までその提携先を広げており、多くの学生が各地で研修を受けています。

こうして多方面にわたりトライデントでは時代が求める技術、資格を備えた人材を養成し社会に送り出しています。

### ③専門学校事業の多彩な展開

- ・トライデントランゲージスクール(キッズイングリッシュ)
- ・トライデントカレッジ社会人教育センター

専門学校トライデントの別科コースとして、児童から社会人までを対象に展開しているのがトライデントランゲージスクールです。キッズイングリッシュ、中学英会話、高校英会話、プライベートレッスンなどの英会話講座はもとより、TOEIC、TOEFL、英検などの対策講座や、日本語教師養成講座、外国人向けの日本語会話講座、お料理教室、お菓子教室など幅広い分野で講座を提供しています。

専門学校教育で培われてきた資格取得などの指導のノウハウを学校・企業・各種団体向けに広く提供しているのが、トライデントカレッジ社会人教育センターです。就職対策講座、各種資格・検定講座、教養・入門講座、進学対策講座といった多彩なニーズに応えています。

## 2. 河合塾グループとしての社会へ向けた取り組み

河合塾グループの一員として、“私たちは「自らを求め、学びつづける人」を支援し一人ひとりの未来に貢献します”という使命のもと、社会へ向けた取り組み(SR活動)で、社会と共有できる新たな価値を創造しています。

## ①次代を担う人材の育成

- ・未来の教育の発展に向けた研究開発(R&D)

河合塾グループでは、幼児から社会人に至るまで、人々が生涯にわたり学習することができる多彩で豊かな教育を展開しています。自ら考えて行動し、未来に新たな価値を創造していく次代の人材を、人生の要所を押さえて継続的に育て、支援していく。そんな、社会から必要とされる教育を常に追い求めています。

## ②地球環境の保全

- ・環境・資源保護活動の推進
- ・地球環境の保全に向けた取り組み

河合塾グループでは、地球に生き自然の豊かさを享受するものとして地球環境の保全を重要な課題と位置づけています。限りある資源の保護、環境や社会への負荷の軽減・補填に努め、持続可能な循環型社会の実現に貢献していくことは、未来社会に向けた責任であると考えています。教育機関として地球環境のためにできることを考え、豊かな未来の実現に寄与することを使命とした活動に取り組んでいます。具体的には、「環境理念」と「環境方針」を明確に定め、紙の使用量の削減、省エネ、ゴミの分別などに積極的に取り組んでいます。

## ③地域・社会への貢献

- ・カンボジア教育支援運動
- ・ペットボトルのキャップを集めてワクチンを贈る運動
- ・児童養護施設の子どもたちへの学習支援活動
- ・使用済み切手・カード等を集めて送る教育支援活動
- ・東日本大震災被災地での学習支援活動



河合塾が贈った机が並ぶ教室(カンボジア)

私たち河合塾グループは、より良い社会の実現をめざし、社会の責任ある一員としてできる限り地域・社会のコミュニティに参画し、地域の発展に貢献するさまざまな活動を推進するとともに、グループのスタッフが行う活動を支援しています。国内の地域・社会への貢献はもとより、海外の地域振興活動にも積極的に取り組み、教育に恵まれない人々を支援する活動に力を注ぐなど、各地域の文化・教育の向上に寄与する地道なコミュニティ活動を行っています。

## ④基本となる社会的責任の遂行

- ・校舎の安全対策
- ・災害への備え
- ・犯罪からのガード
- ・感染症への対策
- ・情報セキュリティの推進～個人情報保護・プライバシーマーク所得
- ・ハラスメント防止

私たちは、次世代を担う人材の育成を行う教育機関として、公正・公平であるための課題発見に努め、必要かつ適切な取り組みを行っています。お客様の安全管理に万

全を期すとともに、法令や規定を遵守し、常に倫理観、責任感をもって行動することを行動指針として定め、常に社会的責任を遂行しています。

**3. 校舎・教室数**（2012年3月31日時点）

●**幼児教育事業** <合計:3>

真貴幼稚園（愛知）

ドルトンスクール（東京・愛知）

●**専門学校事業** <合計:7>

トライデント専門学校（愛知 5）

トライデントランゲージスクール（愛知）

トライデントカレッジ社会人教育センター（愛知）

**4. 生徒・学生数の状況**（2012年3月31日時点在籍の2011年度生）

●**幼児** 900名

●**専門学校生** 2,100名

※トライデントランゲージスクール生、およびドルトンスクール（アフタースクール）の小学生は含まず。

## Ⅲ. 財務の概要

## 1. 資金収支計算書

## 資金収支計算書

平成23年4月 1日から  
平成24年3月31日まで

(単位 円)

| 収入の部          |                       |                       |                      |
|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 科 目           | 予 算                   | 決 算                   | 差 異                  |
| 学生生徒等納付金収入    | 3,722,735,000         | 3,533,281,977         | 189,453,023          |
| 手数料収入         | 15,726,000            | 18,494,910            | △ 2,768,910          |
| 寄付金収入         | 0                     | 31,072,339            | △ 31,072,339         |
| 補助金収入         | 109,104,000           | 112,321,873           | △ 3,217,873          |
| 資産運用収入        | 30,000,000            | 22,119,919            | 7,880,081            |
| 資産売却収入        | 3,200,000,000         | 605,192,090           | 2,594,807,910        |
| 事業収入          | 296,720,000           | 306,768,747           | △ 10,048,747         |
| 雑収入           | 11,344,000            | 16,917,353            | △ 5,573,353          |
| 前受金収入         | 1,500,000,000         | 1,479,121,863         | 20,878,137           |
| その他の収入        | 104,033,000           | 95,592,655            | 8,440,345            |
| 資金収入調整勘定      | △ 1,792,843,000       | △ 1,556,823,494       | △ 236,019,506        |
| 前年度繰越支払資金     | 8,139,652,000         | 8,139,651,541         |                      |
| <b>収入の部合計</b> | <b>15,336,471,000</b> | <b>12,803,711,773</b> | <b>2,532,759,227</b> |
| 支出の部          |                       |                       |                      |
| 科 目           | 予 算                   | 決 算                   | 差 異                  |
| 人件費支出         | 2,266,804,000         | 2,266,062,429         | 741,571              |
| 教育研究経費支出      | 918,949,000           | 809,013,623           | 109,935,377          |
| 管理経費支出        | 514,425,000           | 510,690,572           | 3,734,428            |
| 施設関係支出        | 14,000,000            | 13,676,825            | 323,175              |
| 設備関係支出        | 65,000,000            | 23,873,178            | 41,126,822           |
| 資産運用支出        | 3,200,000,000         | 401,588,000           | 2,798,412,000        |
| その他の支出        | 311,662,000           | 307,877,450           | 3,784,550            |
| [予備費]         | (81,000,000)          |                       |                      |
|               | 59,000,000            |                       | 59,000,000           |
| 資金支出調整勘定      | △ 329,280,000         | △ 250,797,263         | △ 78,482,737         |
| 次年度繰越支払資金     | 8,315,911,000         | 8,721,726,959         | △ 405,815,959        |
| <b>支出の部合計</b> | <b>15,336,471,000</b> | <b>12,803,711,773</b> | <b>2,532,759,227</b> |

(注) 予備費 81,000,000円の使用額は下記のとおりである。

|        |              |
|--------|--------------|
| 人件費支出  | 5,000,000 円  |
| 管理経費支出 | 34,000,000 円 |
| その他支出  | 42,000,000 円 |

2011年度の収支状況を資金収支計算書により説明しますと、収入額は、4,664百万円となり、前年度より繰越された8,139百万円を加え、収入合計は12,803百万円となりました。

一方、支出額は、人件費、教育研究経費、管理経費、施設・設備関係支出、資産運用支出等を合わせ、4,081百万円となり、差引き8,721百万円が次年度繰越支払資金となりました。



## 2. 消費収支計算書

## 消費収支計算書

平成23年4月 1日から  
平成24年3月31日まで

(単位 円)

| 消費収入の部              |                      |                      |                     |
|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 科 目                 | 予 算                  | 決 算                  | 差 異                 |
| 学生生徒等納付金            | 3,722,735,000        | 3,533,281,977        | 189,453,023         |
| 手数料                 | 15,726,000           | 18,494,910           | △ 2,768,910         |
| 寄付金                 | 0                    | 31,072,339           | △ 31,072,339        |
| 補助金                 | 109,104,000          | 112,321,873          | △ 3,217,873         |
| 資産運用収入              | 30,000,000           | 21,453,319           | 8,546,681           |
| 資産売却差額              | 0                    | 217,457,123          | △ 217,457,123       |
| 事業収入                | 296,720,000          | 306,768,747          | △ 10,048,747        |
| 雑収入                 | 11,344,000           | 18,519,663           | △ 7,175,663         |
| 帰属収入合計              | 4,185,629,000        | 4,259,369,951        | △ 73,740,951        |
| 基本金組入額合計            | △ 12,000,000         | △ 8,123,259          | △ 3,876,741         |
| <b>消費収入の部合計</b>     | <b>4,173,629,000</b> | <b>4,251,246,692</b> | <b>△ 77,617,692</b> |
| 消費支出の部              |                      |                      |                     |
| 科 目                 | 予 算                  | 決 算                  | 差 異                 |
| 人件費                 | 2,272,804,000        | 2,271,000,139        | 1,803,861           |
| 教育研究経費              | 1,353,657,000        | 1,242,654,525        | 111,002,475         |
| 管理経費                | 529,514,000          | 524,854,045          | 4,659,955           |
| 資産処分差額              | 10,000,000           | 5,818,516            | 4,181,484           |
| 徴収不能額               | 3,607,000            | 3,607,000            | 0                   |
| [予備費]               | (60,607,000)         |                      |                     |
|                     | 79,393,000           |                      | 79,393,000          |
| <b>消費支出の部合計</b>     | <b>4,248,975,000</b> | <b>4,047,934,225</b> | <b>201,040,775</b>  |
| 当年度消費収入超過額          |                      | 203,312,467          |                     |
| 当年度消費支出超過額          | 75,346,000           |                      |                     |
| 前年度繰越消費支出超過額        | 958,427,000          | 958,427,015          |                     |
| 基本金取崩額              | 0                    | 829,110,757          |                     |
| 翌年度繰越消費収入超過額        |                      | 73,996,209           |                     |
| <b>翌年度繰越消費支出超過額</b> | <b>1,033,773,000</b> |                      |                     |

(注) 予備費 60,607,000円の使用額は下記のとおりである。

|       |              |
|-------|--------------|
| 人件費   | 11,000,000 円 |
| 管理経費  | 46,000,000 円 |
| 徴収不能額 | 3,607,000 円  |

2011年度の消費収支の概要について予算との対比で説明しますと、まず収入面では、学生生徒等納付金他、不動産売却に伴う資産売却差額などにより、帰属収入合計は、対予算73百万円の増収、4,259百万円となりました。一方、支出面では、人件費、教育研究経費、管理経費等の削減により、対予算201百万円の減少、4,047百万円となりました。また、基本金組入額は、校地・校舎・機器備品・図書等に対する支出額である第1号基本金への組入のみ8百万円、予算を3百万円下回りました。

以上により、2011年度の消費収入超過額は予算より278百万円改善して、203百万円となり、これに資産売却に伴う基本金取崩額829百万円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は、前年度958百万円の消費支出超過から当年度は73百万円の消費収入超過と改善いたしました。

## 3. 貸借対照表

**貸借対照表**

平成24年3月31日

(単位 円)

| 資産の部            |                       |                       |                      |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 科 目             | 本年度末                  | 前年度末                  | 増 減                  |
| <b>固定資産</b>     | <b>13,747,890,942</b> | <b>14,181,703,039</b> | <b>△ 433,812,097</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>13,316,679,715</b> | <b>13,917,719,321</b> | <b>△ 601,039,606</b> |
| 土地              | 7,301,990,271         | 7,424,166,344         | △ 122,176,073        |
| 建築物             | 5,649,054,656         | 6,040,255,329         | △ 391,200,673        |
| 構築物             | 90,631,062            | 101,330,404           | △ 10,699,342         |
| 機器備品            | 222,129,304           | 301,592,612           | △ 79,463,308         |
| 図書              | 50,799,622            | 47,644,632            | 3,154,990            |
| 車両運搬具           | 2,074,800             | 2,730,000             | △ 655,200            |
| <b>その他の固定資産</b> | <b>431,211,227</b>    | <b>263,983,718</b>    | <b>167,227,509</b>   |
| 電話加入権           | 4,867,698             | 4,867,698             | 0                    |
| ソフトウェア          | 8,691,929             | 0                     | 8,691,929            |
| 有価証券            | 401,470,400           | 200,091,000           | 201,379,400          |
| 保証金             | 14,440,700            | 57,672,400            | △ 43,231,700         |
| 奨学金             | 260,000               | 1,180,000             | △ 920,000            |
| 権利金             | 0                     | 172,620               | △ 172,620            |
| 長期前払金           | 1,480,500             | 0                     | 1,480,500            |
| <b>流動資産</b>     | <b>8,990,987,033</b>  | <b>8,417,633,504</b>  | <b>573,353,529</b>   |
| 現金・預金           | 8,721,726,959         | 8,139,651,541         | 582,075,418          |
| 未収入金            | 23,981,457            | 47,832,455            | △ 23,850,998         |
| 有価証券            | 199,964,000           | 200,422,000           | △ 458,000            |
| 前払金             | 45,314,617            | 29,280,308            | 16,034,309           |
| 仮払金             | 0                     | 447,200               | △ 447,200            |
| <b>資産の部合計</b>   | <b>22,738,877,975</b> | <b>22,599,336,543</b> | <b>139,541,432</b>   |

| 負債の部          |                      |                      |                     |
|---------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 科 目           | 本年度末                 | 前年度末                 | 増 減                 |
| <b>固定負債</b>   | <b>723,139,309</b>   | <b>718,856,799</b>   | <b>4,282,510</b>    |
| 退職給与引当金       | 721,719,709          | 716,781,999          | 4,937,710           |
| 長期未払金         | 1,419,600            | 2,074,800            | △ 655,200           |
| <b>流動負債</b>   | <b>1,722,972,957</b> | <b>1,799,149,761</b> | <b>△ 76,176,804</b> |
| 未払金           | 220,097,355          | 234,387,439          | △ 14,290,084        |
| 前受金           | 1,479,121,863        | 1,532,842,037        | △ 53,720,174        |
| 預り金           | 23,753,739           | 31,920,285           | △ 8,166,546         |
| <b>負債の部合計</b> | <b>2,446,112,266</b> | <b>2,518,006,560</b> | <b>△ 71,894,294</b> |

| 基本金の部          |                       |                       |                      |
|----------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 科 目            | 本年度末                  | 前年度末                  | 増 減                  |
| 第1号基本金         | 19,821,769,500        | 20,642,756,998        | △ 820,987,498        |
| 第4号基本金         | 397,000,000           | 397,000,000           | 0                    |
| <b>基本金の部合計</b> | <b>20,218,769,500</b> | <b>21,039,756,998</b> | <b>△ 820,987,498</b> |

| 消費収支差額の部          |                   |                      |                    |
|-------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| 科 目               | 本年度末              | 前年度末                 | 増 減                |
| 翌年度繰越消費収入超過額      | 73,996,209        |                      | 73,996,209         |
| 翌年度繰越消費支出超過額      |                   | 958,427,015          | △ 958,427,015      |
| <b>消費収支差額の部合計</b> | <b>73,996,209</b> | <b>△ 958,427,015</b> | <b>884,430,806</b> |

| 科 目                            | 本年度末                  | 前年度末                  | 増 減                |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| <b>負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計</b> | <b>22,738,877,975</b> | <b>22,599,336,543</b> | <b>139,541,432</b> |

2011年度末現在の財政状態を貸借対照表により説明しますと、資産の総額は22,738百万円で、その内訳は、土地・建物等有形固定資産 13,316 百万円。長期有価証券等その他の固定資産 431 百万円、現金預金等流動資産 8,990 百万円となりました。

一方、負債の総額は、前受金・退職給与引当金等 2,446 百万円となりました。基本金は、20,218 百万円で、内 19,821 百万円は、校地・校舎・機器備品・図書など教育・研究に必要な資産の自己資金調達が示す第1号基本金となっています。

翌年度繰越消費収支超過額は、前年度末が消費支出超過 958 百万円に比較し 1,032 百万円改善、消費収入超過 73 百万円となりました。

## 4. 財産目録

学校法人 河合塾学園

## 財産目録

(平成24年3月31日)

|        |   |                  |
|--------|---|------------------|
| 資産総額   | 金 | 22,738,877,975 円 |
| 内 基本財産 | 金 | 12,678,676,372 円 |
| 運用財産   | 金 | 10,060,201,603 円 |
| 負債総額   | 金 | 2,446,112,266 円  |
| 正味財産   | 金 | 20,292,765,709 円 |

|                   |                          |                         |
|-------------------|--------------------------|-------------------------|
| <b>一 資産額</b>      |                          |                         |
| (一) 基本財産          |                          |                         |
| 1 土地 (校地)         | 12,796.06 m <sup>2</sup> | 6,894,790,761 円         |
| 2 建物 (校舎)         | 35,658.70 m <sup>2</sup> | 4,401,673,614 円         |
| 3 建物附属設備          |                          | 1,006,339,759 円         |
| 4 構築物             |                          | 87,805,569 円            |
| 5 備品類 (校具・教具・備品)  |                          | 220,593,154 円           |
| 6 図書              | 15,001 冊                 | 50,799,622 円            |
| 7 車両運搬具           |                          | 2,074,800 円             |
| 8 電話加入権           |                          | 4,426,664 円             |
| 9 ソフトウェア          |                          | 8,691,929 円             |
| 10 長期前払金          |                          | 1,480,500 円             |
| <b>合 計</b>        |                          | <b>12,678,676,372 円</b> |
| (二) 運用財産          |                          |                         |
| 1 土地              | 2,199.54 m <sup>2</sup>  | 407,199,510 円           |
| 2 建物              | 5,752.14 m <sup>2</sup>  | 206,887,490 円           |
| 3 建物附属設備          |                          | 34,153,793 円            |
| 4 構築物             |                          | 2,825,493 円             |
| 5 備品類             |                          | 1,536,150 円             |
| 6 電話加入権           |                          | 441,034 円               |
| 7 流動資産 (現金、預貯金)   |                          |                         |
| 現金                |                          | 3,602,666 円             |
| 普通預金              |                          | 8,667,641,078 円         |
| 振替貯金              |                          | 50,483,215 円            |
| 8 流動資産 (有価証券、その他) |                          |                         |
| 有価証券              |                          | 199,964,000 円           |
| その他               |                          | 69,296,074 円            |
| 9 固定資産、繰延資産等      |                          | 416,171,100 円           |
| <b>合 計</b>        |                          | <b>10,060,201,603 円</b> |
| <b>二 負債額</b>      |                          |                         |
| 1 固定負債            |                          |                         |
| 退職給与引当金           |                          | 721,719,709 円           |
| 長期未払金             |                          | 1,419,600 円             |
| 2 流動負債            |                          |                         |
| 買掛金               |                          | 124,094,427 円           |
| 未払金               |                          | 96,002,928 円            |
| 前受金               |                          | 1,479,121,863 円         |
| 預り金               |                          | 23,753,739 円            |
| <b>合 計</b>        |                          | <b>2,446,112,266 円</b>  |

5. 監査報告書

監査報告書

平成24年5月30日

学校法人 河合塾学園  
理事長 河合 弘登 殿

監事 柳澤 義一

監事 寺根 秀雄

私たち監事は、私立学校法第37条第3項および学校法人河合塾学園寄附行為第7条第2項の規程に基づき、平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）における学校法人の業務および財産の状況について監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

監事は、一般に認められた監査手続きに従い、理事会及びその他重要な会議に出席するとともに、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧し、学校法人河合塾学園の業務及び財産の状況を調査しました。  
また、帳簿並びに計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書及び収益事業に係る計算書類）の閲覧など、会計書類の正確性につき検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 計算書類等は、学校法人の収支の状況および財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産の状況に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以 上

**【学校法人会計について】**

学校法人の財務状態を表す計算書類は、学校会計基準に則って作成されており、上記「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」と大きく分けて3種類あります。それぞれは企業会計における計算書類とほぼ同じ概念となっています。

しかし学校法人は公益法人であることから、生徒への「教育」の提供を第一義におき営利を第一目的にしない点など、計算書類作成における基礎概念が企業会計と異なります。そのため計算書類の構成も異なるので、企業会計の財務諸表(計算書類)との比較は困難となります。以下に各計算書類の特徴を記します。

**1. 資金収支計算書**

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に近いもので、1年間(会計年度)に行った教育研究等の諸活動に関するすべての資金収支の顛末を明らかにしています。資金収支計算書は、収入の部と支出の部で構成されており、収入の部は前年度繰越資金+当年度収入分、支出の部は当年度支出分+次年度繰越資金となります。また当年度収入分・当年度支出分は、次年度分の入学金など資金収入のなかで当年度収入分に該当しない前受金や当年度の未払金については、資金収入調整勘定・資金支出調整勘定を設けて調整することにより、当該会計年度の資金収支状況を示しています。

**2. 消費収支計算書**

企業会計における「損益計算書」と近いもので、1年間(会計年度)に行った教育研究等の諸活動に関する収入とそれに対する支出(現金の移動を伴わない取引も含む)のバランスを見ることにより、経営状況の明らかにすることを目的としています。消費収支計算書は、消費収入と消費支出で構成されています。消費収入は、当年度の帰属収入から、決められたルールに従って「基本金」へ組み入れ(帰属収入から減算)した後の収入額としています。企業会計上の売上高(事業収入)との違いは、消費収入には、事業収入の他に資産運用収入・資産売却収入・その他雑収入が加わっている点です。消費支出は、教育研究経費と管理経費および諸活動に対する経費を合計したものとしています。消費収入と消費支出の差額は、当該会計年度の収支状況を示しており、帰属収入と消費支出の差額は、企業会計の損益計算書上の「当期純利益」に相当します。

**3. 貸借対照表**

企業会計における貸借対照表と基本的には同じで、期末時点の財政状況を表した書類です。企業会計と異なる点は、「資本金」に変わり「基本金」という概念が導入されている点、および利益処分ができない点です。学校法人は本来、寄付行為によって設立されているため、法人の資産の所有権は、誰にも認められていません。従って法人所有の概念である「資本(=株式)」の考え方はありませんし、利益を処分し配当金を支払うことはできません。基本金は、公益法人として永続的維持を重視しているため、教育活動に供する固定資産の取得金額を基本金に組み入れて財産の留保をするなど、組み入れのルールが学校会計基準により厳密に決まっています。